

掛企画第286号

令和6年2月14日

掛川市行財政改革審議会

会長 小松 尚 様

掛川市長 久保田 崇



## 諮 問

掛川市が所有する公共施設の多くは昭和50年代に整備されており、近い将来、同時期に大規模改修や建替が集中することが見込まれます。一方、少子高齢化の進展に伴う市民ニーズの変化への対応等により、公共施設等の維持・更新に充当可能な財源には限りがあり、全ての施設を現状の規模のまま維持することはできません。

掛川市は平成28年3月に「掛川市公共施設等総合管理計画」を策定し、この計画を推進するにあたり施設の統廃合や複合化、多機能化等の考え方をまとめた「掛川市公共施設再配置方針」を令和元年8月に策定し、施設の再配置や長寿命化を進めてきました。

その後、令和5年8月に学校再編計画を策定し、公共建築物の床面積の4割以上を占める学校施設について、学校再編の時期や枠組を決定しました。

そのため、公共施設再配置方針の考え方を踏まえ、公共施設再配置計画を策定することとし、現在の公共施設の状況や住民意向を把握し、ポストコロナ期における新たな社会情勢を踏まえ、安全・安心を確保するとともに公共施設によるサービスを最適かつ持続可能なものとすることを目指します。

つきましては、掛川市行財政改革審議会条例第2条の規定により、貴審議会に次の事項について審議を求めます。

## 記

- 1 公共施設再配置方針を踏まえた公共施設再配置計画の策定について